

X-Cleaner FAQ

Last Updated 2005.10.16

導入前の質問

スパイウェアとは何ですか？ どんなスパイウェアを検出できますか？

スパイウェアについての情報や定義は、スパイウェアガイド www.spywareguide.jpを参照してください。
検出可能なスパイウェアの情報も公開されています。

サポートしているOSは何ですか？

Microsoft Windows OS (98/Me/NT/2000/2003 および XP)が対象になります。Mac やその他の OS はサポートしていません。

X-Cleaner はコンピュータをウイルスからも保護できますか？

いいえ、X-Cleaner は、スパイウェア対策専用のソフトウェアです。ウイルス対策には、ウイルス対策専用のソフトウェアを併用することをお勧めします。

X-Cleaner を他のアンチウイルスソフトウェアと共に実行したいのですが、何か注意が必要ですか？

X-Cleaner はアプリケーション レベルで実行されるので、他の既存のウイルス対策ソフトウェアとの親和性に優れています。X-Cleaner を既存のウイルス対策ソフトウェアと共に利用することを強く推奨しています。

他のスパイウェア対策ソフトウェアでスパイウェア クッキーが検出されるのですが、X-Cleaner では検出されません

クッキーはスパイウェアではありません。X-Cleaner はどんな種類のクッキーもスパイウェアとしては検出しません。それは、技術的にクッキーはスパイウェアではないからです。クッキーを制御するには、ブラウザの設定を利用するのが最も効果的です。

対処方法についての詳細は、[スパイウェアノート](#)を参照してください。

プログラムやシグネチャの更新はどのように実行されますか？

自動更新機能により、プログラムおよびシグネチャファイルは自動的に更新されます。自動更新には、インターネットにアクセス可能な環境が必要です。

アップデート機能は、ファイアウォールのある環境でも利用できますか？

アップデートには、HTTP プロトコルが利用されます。したがって、インターネットをブラウザでアクセスできる環境があれば利用できます。

スパイウェアの検出は、いつ実行すればいいですか？

システム開始時の自動実行や、何かインストールした場合に、クイックスキャンを実行してください。最低週に1度はディープスキャンを実行することをお勧めします。

シグネチャ ファイルのアップデート頻度は？

シグネチャファイルは、週末以外は、毎日アップデートされています。アップデートを確認するには、“アップデート”ボタンをクリックしてください。

検疫はいつ実行すればいいですか？

検疫リストには、Active-X を利用したスパイウェアがリストされています。このリストは、シグネチャファイルの更新と共に新しいものが追加されます。シグネチャを更新したら適用することをお勧めします。

検疫(ブロックリスト)を適用すると、Active-Xが使用できなくなりますか？

検疫機能は、ブラウザの Active-X を有効にしたままで既知のスパイウェアの実行や侵入から保護するための方法です。Active-X 機能は、そのまま利用できます。

X-Cleaner でシグネチャ ファイルの更新のためにインターネットに接続する場合、プロキシ設定はどのようにすればいいですか？

A. X-Cleaner では、Internet Explorer で定義されている接続設定を自動的に読み込み利用します。他のブラウザを利用している場合も同様です。そのため、これらの設定が正しく行われている必要があります。

間違っ必要なファイルが削除された場合は、どのように対応しますか？

XCleaner は、スパイウェアを除去する前にシステム復元ポイントを作成するよう問い合わせてきます。システム復元ポイントを作成しておくことで、万が一まちがって削除した場合でも回復することができます。

スキヤンをスケジューラで設定できますか？

はい、スキヤンを自動的に実行するには、コマンドライン オプション /autostart を利用することができます。Windows のスケジュールタスクに以下のように登録することで、クイックスキヤンを定期的に行うことができます。

```
xcleaner_full.exe /autostart /slient /turbo
```

その他、利用可能なコマンドライン オプションはユーザガイドを参照してください。

スパイウェア対策ソフトウェアを導入することにより、起動時の負荷が増えるのを懸念している。すでにQNDやシマンテックのウィルス対策ソフトが起動時に負荷を加えている) 起動時の負荷を抑える方法はあるのか？

起動時の負荷については、最小限の負荷です。起動時のクイックスキヤンは、5 秒程度で終了します。この辺りも他社と比べて、はるかに軽量になっています。

高速、となっているが、クイックスキヤンではなくて、ディープスキヤン時の速度は他社製品と比較してどうか？

ディープスキヤンの場合、速度は、ディスクの容量に依存してきます。現在多くの数十GBのディスクを装備している PC が大半です。ディープスキヤンは速度を比較するよりは、いかにシステムに負荷が軽いままスキヤンが実行されるかを重視しています。つまり、X-Cleaner の場合、100% CPU を使って高速に終了するよりも、最小 CPU、メモリ負荷で高速に処理できるかを重視しています。この点の他社との比較では、利用メモリ量、CPU への負荷により比較した結果では、優れた結果となっています。

インターネット接続を利用してクライアント PC のシグネチャ更新によるネットワークへの負荷が気になる。なにか対策は可能か？サーバでいったんシグネチャを更新して、各個人はサーバから配布されるなど

SUS (WSUS)のような仕組みを導入することも可能です。実際、シグネチャの更新が主な目的なので、ネットワークへの負荷は、多くはありません。現在シグネチャのサイズは、800KB 程度

運用中の問題

起動時に“プログラムの期限が切れています”のメッセージが表示されます。

X-Cleaner には、常に最新のプログラムで新しいスパイウェアに対処するために、プログラムが定期的に更新されているかどうかをチェックするための警告システムが含まれています。

スパイウェアガイド メンバー ページにログインし最新のフルイメージをダウンロードして、X-Cleaner を再インストールしてください。

また、このメッセージは、コンピュータのシステム日付が大きく変わっている場合にも表示されます。システム日付を確認してください。

X-Cleaner でスパイウェアの除去後、Internet Explorer がアクセスできなくなったのですが？

X-Cleaner は、クリーニング実行時に IE の設定を変更しません。スパイウェアによっては、LSP 設定を変更しているものがあります。クリーニング タブにある“Layered Service Provider の確認”をチェックして、クリーニングを行うことで回復が可能です。

X-Cleaner のバージョンはどうやって確認できますか？

X-Cleaner は、ビルド番号でバージョンが管理されています。

最新版は、X-Cleaner のメンバーページ、またはスパイウェアガイド Web ページに最新のビルド番号が表示されています。

X-Cleaner を起動して、“アップデート”タブで表示されているビルド番号と比較してください。すでに最新版(同じ時ビルド番号)の場合には、アップデートの必要はありません。アップデートも行われません。

“Input file too small” エラーメッセージが表示されるのは、なぜ？

X-Cleaner の起動時または、Windows スタートアップでスキャンを設定している場合は、ログイン時に、“Input file too small” エラー メッセージが表示されます。

X-Cleaner の利用しているファイル、シグネチャファイルなどが破損している場合に発生します。

シグネチャ ファイル xc_sigs.dat ファイルを削除し、アップデートすることで解決することができます。

シグネチャファイルが壊れたか、削除してしまいました。どうすればいいですか？

シグネチャ ファイル xc_sigs.dat ファイルを削除し、アップデートすることで最新のシグネチャ ファイルがダウンロードできます。

メッセージ サービスに関する警告が表示されますがなぜですか？

メッセージ サービスを利用したメッセージ サービスや、フィッシングの危険性のため、X-Cleaner のデフォルト設定では、メッセージ サービスをチェックし、有効になっていると警告するよう設定されています。

企業内で利用している場合など、こうした危険性がない場合は、“クリーニング”タブから“メッセージ サービスの確認”チェックを解除してください。

X-Cleaner を実行すると KERNEL32.DLL エラーメッセージが表示されます

X-Cleaner を実行すると、“KERNEL32.DLL エラー”が表示され、あたかも X-Cleaner にエラーが発生したようにダイアログボックスが表示された場合、詳しくダイアログボックスを見てみてください。通常のエラーメッセージと違う場合、スパイウェア Spector が原因していると思われます。Spector は、“X-Cleaner”を含んだウィンドウを攻撃し、あたかも X-Cleaner で問題が発生したかのように偽のエラーメッセージを表示させる小さなプログラムです。対処: エラーダイアログボックスはクリックしないでください。X-Cleaner のスキャンを実行してください。検出、除去後、再起動のためのダイアログボックスが表示されたら Spector のエラーダイアログボックスをクリックして閉じます。再起動メッセージをクリックしてコンピュータを再起動してください。

パーソナルファイアウォールが Xcleaner_full.exe の接続を検出しますがなぜですか?

パーソナルファイアウォールで xcleaner_full.exe の接続を許可していても、xcleaner_full.exe がアップデート機能により アップデートされた場合は、パーソナルファイアウォールが新しい xcleaner_full.exe がインターネットへの接続を試みていることを検出します。アクセスを許可してください。

実際に xcleaner_full が更新されたためどうかを確認するには、メンバーページで最新版のビルド番号と、現在利用している X-Cleaner にビルド番号を確認してください。

X-Cleaner でスパイウェアが検出されるのですが、除去できないようです?

検出されるスパイウェアによってはそのまま除去できないものがあります。以下の方法を試みてください。

1. X-Cleaner デラックス版 アップデート ボタンをクリックしてシグネチャを最新にします。
2. 検疫タブで、ブロックリストをすべて適用します。
3. ウィンドウズをセーフモードで再起動します。
4. X-Cleaner を起動し、フルスキャン (スパイウェア検出タブ)を実行します。
5. ウィンドウズを通常モードで起動します。
6. X-Cleaner を再度実行し、スパイウェア検出を選択して、除去されたかどうか確認してください。

上記の方法で除去できなかった場合は、[XRayPC](#)で取得したシステムログとX-Cleanerの検出ログをサポートまで送ってください。対応シグネチャ ファイルを作成します。

操作方法に関して

X-Cleaner ログの作成方法

X-Cleaner での除去に関する問い合わせをする場合に、X-Cleaner のログを送っていただく場合があります。以下の方法で X-Cleaner のログを取得することができます。

X-Cleaner デラックス版を起動

Ctrl + H を押します。サポート ダイアログボックスが表示されます。

“ログ”タブを選択して、常にログを作成 チェックボックスをチェックします。

“閉じる”でサポートダイアログボックスを閉じます

X-Cleaner スパイウェア検出でフルスキャンを実行します。

検出が終了したら、Ctrl + H を押して、サポートダイアログで、ログをログに戻します

XCL_LOG.TXT ファイルが X-Cleaner のインストールされているフォルダに作成されます。

その他関連

セーフ モードでウィンドウズを起動するには？

通常モードでの起動時で除去できないスパイウェアを除去する方法として、セーフモードで除去する方法があります。セーフモードで起動後、X-Cleaner を実行しスキャンを実行してください。ウィンドウズをセーフ モードで起動する方法の 1 つは、コンピュータの起動時に F8 キーによる方法です。

コンピュータを再起動し、BIOS による POST が終了し、Windows が起動前されるわずかの間に、F8 キーを押します。メニューが表示されたら、“セーフモード”を選択します。

[Windows 2000](#)

[Windows XP](#)

システム回復ポイントへの復帰方法？

X-Cleaner でスパイウェアを検出し、除去する前にシステム復元ポイントを作成することをお勧めします。万が一、除去によりシステムが不安定になった場合に、その作成したシステム復元ポイントを利用して復旧することができます。

システム復元ポイントへの回復方法は、[Microsoft 問題発生時にシステムの復元を使用して変更を元に戻す方法](#) を参照してください。